



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯀コミ

R4 CS通信No.19 R5.3.6



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 車いす贈呈式(西海小学校)

2月14日(火)西海小学校で車いす贈呈式がありました。鯀ヶ沢町社会福祉協議会から3名の職員を迎え、プルタブが車いすになるまでのお話を聞いたり、車いすに乗る体験をしたりしました。

大人用の車いすの交換に必要なプルタブは、およそ700kgで、ラクダ一頭分の重さにあたるそうです。集めたプルタブは溶かしてアルミニウムとなり、そのアルミニウムを売ったお金で車いすを購入するというしくみになっています。

社会福祉協議会では、車いすが必要な人には貸し出していて、買い物や図書館等自分で行きたいところに行くときに使われています。

「困ったときはお互い様です。まずは、自分ができることから始めてみましょう。」と、声をかけられ、子どもたちは、自分たちができる社会貢献について考えていました。



## 5年スキー教室(舞戸小学校)

2月27日(月)舞戸小学校第5学年のスキー教室がありました。初心者コースの児童は、スキー靴を履くのも、スキーをつけるのも初めてで、最初は思うように動けませんでした。でも、最初の1時間で、歩き方や滑り方、止まり方を習得し、午前中に何回もリフトに乗ることができました。

昼食をはさんだ午後のスキー教室では、左右のターンが上手にできるようになり、指導する先生の後ろをきれいに滑っていました。

当日は、保護者や地域の方々、スキークラブの方々が手伝いし、児童をサポートしました。

スキーの指導だけでなく、スキー靴の着脱や昼食の準備・後始末の案内まで手伝い、児童が安心して行動することができました。

スキー教室終了後、子どもたちは、スキーを教えてくれた講師の先生方やPTA・地域の方々に「お世話になりました。有難うございました。」と、元気よく挨拶していました。



## 第3回学校運営協議会

2月24日(金)第3回学校運営協議会がありました。各校の校長先生方が、令和5年度の学校運営方針について説明し、学校運営協議会で審議した結果、学校運営協議会委員が、満場一致で承認しました。

鯀ヶ沢中学校の相馬校長先生は、70時間の総合的な学習の時間で、ふるさと学習、キャリア教育、ディスカッショントレーニングの3つ内容を充実させることについて説明しました。

舞戸小学校の三橋校長先生は、ICT機器の効果的な活用、少人数指導の充実、家庭・地域と連携した挨拶・やさしい言葉遣い、ふるさとを大切に育てる子どもの育成等を説明しました。

西海小学校の川浪校長先生は、協調性と努力(根気・粘り・挑戦)の大切さを学ばせ、自信(自己肯定感)を育てることを重点目標として掲げ、肯定的回答を85%以上とする数値目標を示しました。

令和5年度の教育活動に向けては、各校共にその準備が進んでいて、地域の子どもの豊かな成長を支える『地域とともにある学校づくり』にさらに研ぎがかりそうです。